

【生薬名】桔梗[㊦] *PLATYCODI RADIX*

【起源植物】キキョウ *Platycodon grandiflorum*



【科名】キキョウ科Campanulaceae

【別名】朝鮮ではトラジとよび食用にする

【薬用部分】根

【主成分】キキョウサポニン、プラチコジン、イヌリン

【薬性】気味は苦辛平、帰経は肺に属す

【効能】●清肺提気・祛痰排膿

●痰や喉の痛みを伴う咳には1日2～5g

●喉が腫れて痛んだり、扁桃炎には桔梗2g、甘草3gを煎じてうがいをしてしながらゆっくりと飲む(桔梗湯)

●気管支炎には1日8gに甘草杏仁を加える

●化膿性の腫れ物には桔梗1、芍薬枳実各2の割合で粉末として混ぜ合わせ、1回量3gに卵黄1個分を加えて良くかき混ぜて白湯で飲む、1日2回飲むと良い、排膿散

●鎮痛、鎮静、解熱、血管拡張、抗潰瘍、鎮咳去痰、血糖降下、抗炎症、マクロファージの貪食能亢進作用等が認められている

【出典】●主治濁唾腫膿也。旁治咽喉痛。(薬徴)

●桔梗 味苦、咽痛腫を療し、葉を載せて上升す。胸を開き壅を利す。(薬性歌)。

●胸膈脹悶には須らく桔梗、枳殻を用うべし、主と為す。(諸病主薬)

【備考】●秋の七草の一つ

●桔梗は舟楫の剂(舟のかじとり)で、諸薬を乗せて上浮するとして上焦の清熱剂には薬効を上部に引き上げるために加える

【処方例】●桔梗湯、排膿湯、排膿散、排膿散及湯、十味敗毒湯